



2019・1・11

第 327 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 3000 万署名達成し、安倍政治にとどめを

### 改憲発議に執念の年頭会見

安倍首相は 1 月 4 日の年頭記者会見いらい改憲発言をくりかえし、公明党の山口代表も論調を変えてきています。

【安倍首相・年頭記者会見】 憲法についてであります。憲法は、国の未来、そして国の理想を語るものであります。本年は、皇位継承が行われ、我が国初の G20 サミットが開催され、世界中の首脳が日本に集まります。

そして、ラグビーのワールドカップ、2020 年には東京オリンピック・パラリンピック、新しい幕開けに当たり、私たちはどのような国づくりを進めていくのか、この国の未来像について議論を深めるべきときに来ていると思います。

憲法改正について、最終的に決めるのは、主権者たる国民の皆様であります。だからこそ、まずは具体的な改正案を示して、国会で活発な議論を通じて、国民的な議論や理解を深める努力を重ねていくことによって、また、重ねていくことが選挙で付託を受けた私たち国会議員の責務であろうと考えています。

### 九条の会事務局学習会のご案内

安倍首相は戦争法（安保法制）を具体化することによってアメリカと共に日本を「戦争をする国」にすることをめざしています。

9 条改憲に先行する防衛計画大綱は自衛隊をそうした任務を実行できる軍隊とするための既成事実づくりです。

○ 日時 1 月 17 日（木）午後 6 時 30 分

○ 会場 文京区民センター 2A 会議室

○ テーマと講師

「新防衛計画大綱と憲法第 9 条」

・講師 大内要三氏

（日本ジャーナリスト会議会員）

「安倍改憲との闘い」

・講師 高田 健氏（九条の会事務局員）

○ 資料代 1000 円（学生 300 円）

\*会場整理のため、事務局まで参加希望者と人数をお知らせください。

国会において活発な議論がなされ、与党、野党といった政治的な立場を超え、できるかぎり広範な合意が得られることを期待しております。

**【山口公明党代表】** 山口代表は6日のNHK番組で「(憲法を)議論できる環境を整えていくことが重要だ。野党を含めた幅広い合意をつくっていく。国民の理解がいかに進むかが国会の役割だ」と語り、「合意が熟成していく政治的余裕は見出しがたい」(昨年11月26日の講演)などとの改憲に慎重な姿勢を変化させています。公明党内では、参院選に向けた自民党との選挙協力などを念頭に「安倍首相が意欲を見せる憲法改正で、ブレーキ役ばかりを続けていけば、自公の選挙協力が影響が出かねない」(幹部)と懸念する声が強まり、また、改憲を巡る与党間の足並みの乱れは、野党につけ入る隙を与えるだけとの計算も働いたと見られるからと。(「読売」1月8日)

## 目標の9割突破、達成へ全力

**【さいたま市／オール緑区の会】** 人口12万人の緑区で活動する「安保法制(戦争法)廃止を求めるオール緑区の会」は、2018年の「9の日」宣伝のしめくくりとしておこなわれた12月9日の行動で、3000万人署名の目標として掲げた目標(3万人)の9割を突破したことを知らせました。

埼玉県では15ある小選挙区のすべてに共同組織ができ、「オール埼玉1区連絡会」を構成する4つの行政区の署名の牽引車の役割を果たしている「オール緑区の会」は、6つの地域にできている9条の会の連絡会と緑区の革新懇、医療生協、埼玉土建の会などで2015年に結成されました。

12月9日にはJR東浦和駅前に「せんそう止める 未来をつくる オール緑区の会」ののぼりをもった人たちが、「あべ9条

改憲発議 許さない 3000万人署名 目標の9割にあたる2万7千人を突破」の横断幕を掲げてリレースピーチをしました。

自らも個人で650人分の署名を集めたオール緑区の会事務局長の加川義光さんも、「平和をねがう署名です。民意無視の暴走を続ける安倍内閣ノーの意思、思いを署名に込めてください」と訴えました。

オール緑区の会が街頭宣伝と同時に重視しているのが、各地域の9条の会が協力し毎月コツコツと積み上げてきた「署名用紙のポストイン&訪問」です。9条連絡会事務局長の大石一之さんは「3000万人署名運動は、改憲阻止の一大国民運動の原動力、夏の参院選での野党躍進、野党共闘をすすめる原動力になります。憲法を無傷のまま次の世代に引き渡すため、署名を集め、共同の輪をさらに広げたい」と語っています。

## 野党代表も参加し決意表明

**【香川県／9条の会かがわ・香川革新懇】** 香川県の9条の会と革新懇は6日、安倍内閣退陣を求めて高松市の商店街をデモ行進しました。60人が参加し、「憲法改悪絶対反対」「アベ政治は許さない」と行進しました。

行進前、立憲民主党県連合の竹本敏信幹事長・県議、共産党の藤沢やよい高松市議、社会党の井角操県本部委員長がリレートークしました。

竹本氏は「大企業優先の政治を終わらせよう」、藤沢氏は、「政治を変えたいという思いを統一地方選と参院選で示そう」と訴え、井角氏は「野党共闘で安心して暮らせる世の中にしよう」と訴えました。

参加した男性(74)は「選挙で自公勢力

を過半数割れにしたい。野党統一候補を早く決めてほしい」と話しました。

## 野党共闘に住民からも期待

【山形県鶴岡市】 鶴岡市に住む五十嵐龍さんと妻の恵美さんは、安倍政権が戦国法を強行した15年7月から市内で毎週日曜日の午後3時からのスタンディングをつづけています。九条の会の人たちと一緒に行動もしばしばです。

五十嵐さん夫妻は「安倍首相にだけはいわれたくないのが『改憲』です。憲法と民意をことごとくないがしろにするアベ首相に憲法を語る資格はありません」と語ります。

山形県でも早く参院選挙区の統一候補者決めて、安倍政権を倒し、改憲を阻止しようという五十嵐さんのメッセージと行動は、多くの人たちを励ましています。

## 「国民投票」を想定すると？

【東京法律事務所9条の会】 2019年参議院選挙までに国会で改憲発議し、国民投票を目指す安倍首相。国民投票になったらどうなる？元博報堂広告マンの本間龍さんと、「国民投票の予行演習」と位置づけられた2015年大阪市での大阪都構想住民投票で活躍したfusaeさんにお話を聞きました(2018年12月1日、東京法律事務所9条の会総会一同事務所「たより」133号)

本間龍さんからは、広告現場の実態から、国民投票では改憲派が圧倒的に有利である現実を見据えて戦略を立てる必要性が語られました。

広告規制がほぼない国民投票においては、

改憲派が豊富な資金力を背景に、電通を使って広告枠を買い占めます。ターゲットは意見を決めていない4割の人。改憲=新しい、若々しい、明るい未来というイメージ戦略で刷り込みをしてくるでしょう。彼らは様々なシミュレーションをして準備しています。

「意見を決めていない人」の中には若い人もたくさんいます。最低限、インターネット、Facebook、TwitterなどのSNSを活用しよう、そして「正しいことを言えば伝わる」というわけではない、伝える工夫、伝わる工夫が必要だとおっしゃっていました。

坂本雅弥弁護士からは、メディア王ベルルスコーニがメディアを悪用し政権を獲得した歴史の反省から、イタリアでは国民投票に際して公平な情報提供を担保するためにメディア規制がなされているという報告がされました。

大阪都構想住民投票では、賛成派による大量の広告宣伝で事実と全く違うことが流布されました。対抗するfusaeさんたち市民は路上から“事実”を訴え続けました。チラシは事実だけを伝える小さいサイズで、短い動画も毎日配信。NOのメッセージをどれだけポジティブに発信できるかが大事だったとのこと。

憲法改正発議はさせない取り組みに力を注ぎつつ、でも、もし国民投票が行われる事態になったときには？改憲をとめるための様々なヒントが詰まったお二人のお話でした

(詳細は当事務所ブログをお読みください)。今泉義竜

## 「兵戈無用」とは？

真宗大谷派・九条の会事務局 国分大慶

### 【非戦平和のスローガン「兵戈無用」】

「兵戈無用(ひょうがむよう)」という言葉は、念仏者九条の会（浄土真宗本願寺派）や真宗大谷派九条の会など、本願念仏を信仰し非戦平和の活動に取り組む者の集まりでスローガンとしてよく用いられている。出典は『仏説無量寿経(ぶっせつむりょうじゅきょう)』の下巻に出てくる経文である。

### 【戦争は役に立たない】

兵は斤（手斧）と両手を表す字から、手斧を両手に持って打つ、ひいて、武器・軍人の意を表す。

戈は握りのついたくいに刃を取り付けた「ほこ」の形にかたどる。古代は戈が最も威力のある武器であったので、これを部首にして、武器の種類、きずつける、うつ、つく、きるなどの戦闘行為を示す字ができています。

無は、もと舞に同じ。借りて「ない」意に用いたが後に舞とは字形を少し変え、亡を増し加え、さらに省略して無の字形になった。

用は材木を組んで作った柵の形にかたどる。土へんに庸（かこむ意）からなる字の原字。この字は城の囲い、ひいて、城の意を表す。それを借りて「もちいる」意に用いる。

なお、兵戈はほこの他に、戦争の意味がある。また、無用は用がない。役に立たないの意味がある。有用に対する。

### 【平和の風景「国豊民安」】

経文を見ると「兵戈無用」に先立って「国

豊民安（こくぶみんあん）」という一句がある。「国豊かに民安し」と読む。

国の旧字の國は或（さかい、くに）に口（くにがまえ）を増し加えて作られたという。

豊の旧字の豊は酒を盛るたかつきと、ゆたかの意と音とを示す字から作られたという。もと、祭器に食物を高く盛り、満ちている意で、大きくてゆったりし、満ちていること。

民という字は、取っ手のある錐の形にかたどる。一説に、目を針でさすさまにより、目の見えない奴隷。ひいて「たみ」の意という。

安は家の中に女が座っているさまにより、静かに留まる。ひいて、やすらかな意を表す。

ちなみに真宗本廟（東本願寺）の白書院には「国豊民安」額が掲げられている。これは閑院宮（かんいんのみや）戴仁（ことひと）親王の筆。親王は日本の皇族、陸軍軍人、日本赤十字社総裁。また、貴族院創設と同時に皇族議員となり薨去まで54年6ヶ月間務めた。

### 【改憲阻止は日常会話から】

国民が茶飲み話で憲法や政治、宗教を語れない状況は戦時下の生活と変わらないと考えると差し支えない。そして、武器を防衛装備と言い換えて省みない政府のあり方に目を閉ざし、口をつぐむことは戦争に協力し認めることに他ならない。

雑音に目をくらまされず、戦場で爆音に圧倒される前に、日常に本音で語り合う国民の不断の努力が改憲阻止に繋がる。（「宗教者九条の和ニュースレター」37号）